



高山西ロータリークラブ

# 例会報告

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 会長 折茂 謙一
- 幹事 米澤 久二
- 会報委員 脇本 敏雄
- 大垣共立銀行 高山支店 4 F



「田舎侍と犬の小さな攻防」 蜘蛛 康介

## <会長の時間>

今回はロータリーの重点分野のいくつかについて内容の説明をします。

平和と紛争予防に関して、まず

1. 毎年 6,000 人の一般市民が地雷によって手足をなくし命を奪われている。
2. 武力紛争や迫害によって 4,200 万人が難民生活を強いられている。
3. 武力紛争で命を落とした犠牲者の 90 パーセントが一般市民で、そのうち少なくとも半数が子供である。
4. 世界中で 30 万人の 18 歳未満の少年少女の少年兵が紛争に巻き込まれている。

ロータリアンにできること

1. 紛争が原因で親を亡くしたり負傷したり心に傷を負ったりした子供助ける。
2. 紛争地帯を逃れた難民を救済する。
3. 社会から疎外され暴力や迫害の危険にさらされた人々を支援する。
4. 紛争の根源的な要因に取り組むプロジェクトを計画する。
5. 海外のロータリークラブとの友好促進や奉仕活動に参加する。

次に水と衛生設備

1. 適切な衛生設備が利用できない人が 26 億人いる。
2. 毎日衛生設備や安全な水の欠如が原因で 6000 人の子供が下痢性疾患でなくなっている。
3. アフリカの僻地に住む女性たちの中には毎日 6 時間を費やして遠くから水を運ばなければならない人々がいる。

ロータリアンにできること

1. 下水やタンクに汚水が流れる水洗式トイレを設置することにより衛生設備を改善する。
2. 帯水層から地下水をくみ上げるために井戸を設置する。
3. 安全な飲み水を得るために家庭にセラミックや砂の浄水フィルターを提供する。
4. 日光にさらすことで水質を改善することのできる塩素錠剤またはペットボトルなど低コストの解決策を提供する。

## <幹事報告>

### ◎高山田城ライオンズクラブより

・高山 5 クラブ親善ゴルフコンペのご案内

- 日時 9月9日(日) 8:42 スタート(アト・イ同時)
- 場所 飛騨高山カントリークラブ
- 表彰式 高山グリーンホテル 18:00~
- 参加費 8,000円 \*プレー代は各自清算
- 申込締切 8月10日(金)

### ◎ガバナー、世界平和フォーラム広島ホスト委員会事務局より

・2013 ロータリー世界平和フォーラム広島のご案内

- 日時 平成 25 年 5 月 17 日(金)~18 日(土)
- 会場 広島国際会議場・ANAクラウン プザ ホテル広島
- 締切 平成 25 年 3 月末日

## <受贈誌>

高山中央RC(会報および 12-13 活動計画書)

## <出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	42 名	2 名	44 名	50 名	88.00%
本日	43 名	—	43 名	50 名	86.00%

## <本日のプログラム> クラブアッセンブリー



**S. A. A 内田 幸洋**  
BGM は会長の希望により、クラシックを流すようにしました。  
また、月間ターゲット幕は、数年の使用に耐える事が出来る様作り直しました。

8 月には会長・幹事を迎え S. A. A 各委員の結束を固める為の委員会を開催する予定です。

3 月には担当例会があり計画中です。

# 例会報告

## クラブ奉仕委員長

田中 武

委員長に田中 武、副委員長に阪下六代さん、委員さんに堀川和士さん、門前庄次郎さん、小林勝一さん、河渡正暁さん、脇本敏雄さん、洞口良一さんです。



## 基本方針

関連各委員会の活動をスムーズに行うため連携を深める。

これには各委員長の各委員会の活動内容を良く確認しあい連携をとりあいスムーズに行うことです。それには各委員長さんのお力が無くては出来ませんので絶大なるご協力のほど宜しくお願い致します。

## 計画

関連委員会の委員長会議（7月・2月）を予定致しております。

予算は50,000円を見ています。

ゲストスピーチですが（2月頃）を予定いたしております。予算は10,000円です。

本年度一年間宜しくお願い致します。

## 会報委員長

脇本 敏雄

### ○ 過去の歴史

過去においては毎例会のスピーチを会報委員がカセットで録音しそれを文章化し、それを会員の山都印刷に持ち込み校正と印刷をして頂き、次週の例会に全会員に配布するという、今にして思うと大変な苦勞が有りました。会報委員になる事が一番嫌な役回りだったので。委員会の予算も約80万円近くあったと思いますが、2006年7月より現在の事務局員を迎えると同時に、ペーパーレス化を図り現在の様なスタイルになり7年目となっています。予算も今年度は85,000円を予定していますが、約1/10となっています。先輩に言われたことに、会報は高山西RCの公式記録なので、出来るだけ綿密に記録を残すように言われたことが有りますが、私個人としては経費削減目的からもっと簡略化した方が良いのではないかと思います。



### ○今年度の方針

#### ① 週報を遅滞なく配布する

- ・ゲストスピーカーの原稿を原則当日提出して頂くことと、会員においては毎例会の原稿は遅くとも次週の水曜日午前中に提出して頂く。（未着の場合は 本文を省略して氏名のみ掲載とする）
- ・紙面の都合上（最大4ページ）原稿は出来るだけ簡略に作成する。（ニコニコ掲載文も同様とする）

#### ② 会員の投稿欄「一期一会」を設ける

- ・会長の今年度方針「会員スピーチ」による相互理解の一環として実施。
- ・会員の増加に伴う会員相互理解の為に一年間で全会員に投稿をお願い

#### ③ 一面トップの写真

- ・今年度も蜘蛛康介さんに依頼し月毎に更新。

#### ④ 写真の配布

- ・毎例会での記録写真を4半期ごとに会員に配布します、原則無償としますが予算化していないので、実費程度をニコニコに協力して頂く。

#### ⑤ 担当例会

- ・会報委員会に相応しいゲストによる卓話。

## 出席・プログラム委員長

洞口 良一

今年度出席プログラム委員会を担当させていただきます7名(洞口、平、岡田、挾土、菱川、蜘蛛、大豆村)の委員に手1年間責務を果たしたいと思っています。基本方針で特にプログラムについてはクラブ役員、委員会との打ち合わせを十分に行い、変更等に臨機に対応していきたいと思っています。



### 委員会の任務・活動として

1. 出席率向上のための意識の高揚を図っていく
2. 出席状況の把握と報告
3. 各大会等への参加を促す
4. 出席関係の喜捨ファインを徴収し、ニコニコへ提出
5. クラブ役員および例会担当各委員長との事前打ち合わせ
6. 会員またはゲストスピーチの実行

# 例会報告

等がありますが、その他折茂会長の目標でもあった「全会員が例会で数分間のスピーチをする」との事で、方法・手順その他を役員さんと打ち合わせていきたいと思っています。



## ニコニコ委員長

小林 勝一

委員長：小林 勝一

副委員長：垂井 政機

委員：平 義孝・小森丈一・

向川原毅彦・小瀬真之介

### 1. 基本方針

会員それぞれの祝事また

日常生活で体験した楽しか

ったこと、心に響いた事等、どんな小さな事でもどんどん発表していただき、会員同士共に喜びを分かち合い、例会が楽しいものとなる様に努める。

### 2. 活動方針

・年間表彰 投稿回数及び金額、内容の楽しさ等を考慮し上位の方に授与

・喜捨およびファイン（徴収については出席委員会に依頼）

#### \*出席表彰

3ヶ月 500円

年間 3,000円

5年・7年 10,000円

10年・15年・20年 20,000円

25年・30年 20,000円

\*無届欠席ファイン 2,000円（弁当代含）

\*遅刻・早退ファイン 500円

・ゲストスピーチ

## 雑誌・広報委員長

河渡 正暁

1. 組織：委員長：河渡正暁、副委員長：田中正躬、委員：葛谷一嘉、野戸守、道脇清春、以上5名。

2. 基本方針：(1) 毎月一回例会に「ロータリーの友」の役に立つ

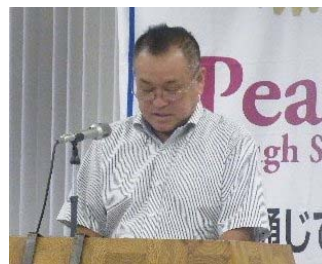


重要情報をわかり易く紹介すると同時に、ロータリアンとしての自覚と意識高揚に努めます。

(2) 四つのテストを基礎基本として、地域社会、市民と絆を深める事が出来るように双方向型パブリック・リレーションズを推進していきます。

3. 担当例会：10月19日の例会では、「ロータリーの効果ある広報の意味」をテーマとする「双方向型パブリック・リレーションズ」の事例発表の講話をしていただきます。講師は津南RC、第2630地区 2010-2011年度広報情報委員長、地区広報委員会アドバイザーの坂口周平さんです。当日の講話により、皆さんがロータリアンの本当の広報がどうあるべきかを識る事ができ将来性を見つめたクラブ・リーダーシップ・プラン(CLP)につながって行く事に期待したいと思います。

4. 事業：高山市内3RC協働により市内紙にロータリー活動についての記事を広報します。



## 会員増強・職業分類

### ・選考委員長

堀川 和士

委員長：堀川 和士

副委員長：古橋 直彦

委員：阪下 六代、遠

藤 隆浩、鴻野 幸泰

### ① 基本方針

魅力あるクラブ作りは会員増強が基盤となって奉仕プロジェクトおよび、親睦活動が活発化。

さらに、ロータリー情報委員会と連携して会員の増強維持と、会員のロータリー理解の場を提供することにより、会員の勧誘、退会防止、会員の教育に貢献しロータリーライフを楽しくするよう行動計画を立案し実施する。 目標5名純増。

1. 候補者勧誘のプロジェクトチームを編成する。

2. 全会員、元会員、特に新会員に推薦を求める。

3. 役員、委員、オブザーバーで毎月、1DMで情報交換し一丸となって目標を遂行する。

### ② 本年度の構想

当委員会としての基本は会員増強にあります。クラブ会員の勧誘、退会防止、会員の教育に対して行動計画を立案し実施する事です。ロータリーの綱領のすべての実践主体がクラブ会員にあり、クラブ

奉仕を通じて平和を

# 例会報告

会員無くしてはロータリーの運営は実現しないからです。原点に戻ると、ロータリーは異業種の交流と、各ロータリアンの事業発展の為の情報交換の場ではないかと思えます。

昨年度より新会員が大幅に増えて来ています。今年度の新ガバナーの方針どおりでもございます。西クラブ会員総員55名を目標にし、より一層のクラブ会員増強を実施し魅力のあるクラブ運営に協力して行きたいと思えます。今年度は、入会一年未満の新会員の力を結集していき、目標を遂行してゆきたいと思えます。

会員にとって魅力あるロータリーにすることによって、入会希望者も増えると思えます。ロータリアンの会員を増やさなければ、地域における奉仕活動も出来ません。また、他部門とも協力して行きクラブ会員のロータリーライフを魅力あるものにし、楽しいクラブに出来るようにいろいろ考え、実行していきたくと思えます。

前年度、12名会員を増強し、10名の純増を果たした阪下前委員長の偉業の意思を受け継いで進みます。言葉では簡単ではありませんが、前年度委員として在籍し勧誘活動をしてきて困難は想像を絶するものであります。幸い、前委員長、阪下さんを始め委員構成は前年度とほぼ同じなので、闇の中の一筋の光を見出している所であります。

宣言します、「会長を始め、全会員50名に候補者を必ず一名以上推薦して頂く事を決意表明致します。」

本日ただいまより、皆さんの日常の中に「会員の推薦」を常に心の片隅において置いて下さい。特に、1年未満の新会員には最低2名以上の推薦をお願いします。

## ロータリー情報委員長

### 阪下 六代

基本方針に基づき、新会員のためのオリエンテーション・懇親会の実施を中心としてロータリーの情報を提供する活動をして参ります。



前年度実施の全2回のオリエンテーションにおいて、新会員12名(うち1名は退会)のうち4名については、第2回オリエンテーション終了後に入会されたり、都合により欠席されたためオリエンテーションの洗礼を受けておられないので、先ず、これらの会員と新年度早期に入会の会員と合わせて、なるべく早い時期にオリエンテーションを実施したいと考えております。

今年度はオリエンテーションを3回実施の予定で予算を計上していますが、会員増強の結果をふまえて、時期、回数を決め実行することになろうかと思えます。

## 職業奉仕委員長

### 小田 博司

こんにちは、職業奉仕委員会委員長の小田です。本年度は、副委員長に野戸さ 委員に葛谷さん、新田さん、大豆村さんの計5名です。



さて、当委員会の本年度の活動も、CLP 導入の可否についての議論がなされる中、概ね従来同様の活動で進めたいと考えます。

活動方針 記述の通り

職場訪問 10月12日飛騨牛乳工場を予定し、申し込みを行いました。

## <ニコニコボックス>

### ●折茂 謙一さん

蜘蛛さん、インターアクト懇親会有難うございました。

### ●米澤 久二さん

今週と来週はクラブアッセンブリーです。各委員長さん、活動計画の発表よろしくをお願いします。

- ● 一期一会 「今を精一杯生きる」 挾土 貞吉
- 「脳出血」、この身体になってはや2年半が過ぎた。病院にいる
- 時、俺の人生これで終わりだと決めつけ一時落ち込みました。し
- かし、退院して今日までアメリカでのリハビリをはじめとする良
- き先生達の指導、訓練のお陰でこんなに良くして頂きました。本
- 当に嬉しく、有難く感謝しております。この病気を今つくづ
- く感じることは、人さまの親切、思いやりの心を身をもって知っ
- た事です。
- あの東日本大震災で被災され、苦しみ悲しみ毎日不安な生活を
- されている多くの方々を思うとき、家もあり家族や友達がいる自
- 分は身体半分が動かないからといって泣き言を言っている罰
- が当たる。俺には右手足が有る動くのだ、使えるんだ、有難いこと
- だと思えるようになりました。これからは更なるリハビリを早
- く良くなって、これまでに受けたご恩返しに少しでも出来るよう
- 今を精一杯生きようと思っております。…「限界への挑戦」頑張る
- ぞ。ホ・オボノボノ…